



## NPO PTPL “ともいき” 便り No.90

平成 27 年 (2015 年) 12 月 22 日発行

### ■冬至 12 月 22 日から 1 月 5 日までの節気

家々の玄関にはクリスマスリースがかけられ、夜になると窓辺や庭木にイルミネーションがチカチカ光っています。12 月 22 日から新しい年を越えて 5 日ですが、「冬至」の節気です。冬至の行事、大晦日、お正月と、重要な行事が目白押しです。

22 日、冬至の日は、太陽が最も低くなるので、昼が一番短く、夜が一番長くなります。そして翌日から昼が少しずつ、少しずつ長くなっていきます。昔の人は、そのことを「米の粒だけ日が長くなる」「畳の目だけ、日がのびる」と言っていて、太陽復活を喜び祝いました。冬至にかぼちゃを食べると一年間健康に暮らせると言われています。さらに「ん」のつくもの、例えばこんにゃく、ぎんなん、きんかんなどを食べると、「幸運」がやってくるそうです。かぼちゃも、「南京」といいますから、しっかりと「ん」がついています。また柚子湯に入ると風邪ひかないともいわれています。柚子湯は最高！ぽかぽかと体が温まって、柚子の香りがふわっとしてとてもリラックスします。ちなみに、我が家では、かぼちゃも食べますし、柚子湯にもしっかりとつかります。皆さまは、いかがですか。(ともいき暦の「冬至の日」をクリックすると、柚子湯の映像が流れます。ぜひご覧ください。)

24 日はクリスマスイブ。25 日はクリスマス。私はクリスチャンではありませんが、双子の息子たちが産まれた時、大きなツリーを買いました。子育て真っ最中のころは、息子たちが自分でツリーのてっぺんに星を飾る日がくるのだろうかと思っていました。ところが、36 年はあつというまに過ぎ、今では孫たちと飾り付けをしているのですから、不思議な気分です。今年のクリスマス、25 日は満月です。お月さま、見られるといいですね。

クリスマスが終わると、すぐに町の雰囲気は「和」に変わります。昔は大晦日は寝ないで、年神様をお迎えしたそうです。寝てしまうと、「朝起きると白髪頭になってしまうよ」などと言われたとか。私が子どものころは、お正月には新しい服を着ました。子ども心にも新しい年を迎え、気持ちがシャンとした記憶があります。まず家族で、「あけましておめでとうございます」と挨拶をしたあと、お屠蘇をいただきます。そして毎年、父の意向により「今年の抱負」を子ども三人が語ってから、お年玉をもらい、やっとお雑煮、お節となります。父は家族の年賀状を、読みながら仕分けしていました。友達からきた年賀状をチェックされているようであまりいい気分ではありませんでしたが、今から思えば、懐かしい我が家のお正月風景です。2016年は猿年。恵方は南南東です。

2015年は、皆さまにとってどのような年でしたか。今年一年、NPO PLANT A TREE PLANT LOVE を応援していただき、心より感謝いたします。

また新しい一年が始まります。人とともに、自然とともに暮らす一年。

どうぞ、よろしく願います。

良い年をお迎えください。

すとう あさえ (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

## ■ ともいき・ともうみ・ともさち雑感彼是

### 「ジャパネスク運動」に期する思い

本年、「ジャパネスク運動」始動の年として位置づけ、「ジャパネスク」サイトを立ち上げ、コンテンツづくりの一年でした。

2017年は、本運動をご支援、ご協力いただける同志を集め、その方々からさまざまなご意見やアイデアを集め、まずは日本から、そして世界に情報を発信していく所存です。

つきましては、再度、私が考える「ジャパネスクについて」をお読みいただき、同志になっていただき、一緒に運動を展開して参りましょう。

われわれの祖先は、人間の側から一方的に自然を見るのではなく、人間も自然の一部であるという観念のもと、自然の大きな回帰循環する時間の中で生きるということをして「生活の知恵」としてきました。

きっと、祖先の五感は、自然とそのリズムを十分に体感していたのでしょう。日本独特の風土に影響されながら、この知恵と体験を蓄積して発達してきたのが“共に生きる”“ともいき”という価値観、生活観であり、祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の生活のありようです。また、われわれの祖先は外国からの文化を一方的に受け入れるのではなく、全く異質なものを、対立するものを共存させ、調和・和合させて、それぞれの良さを生かし、日本化し、独特の新しい文化を創り上げてきました。

(歴史的に考察しても、和魂漢才・和魂洋才・和魂米才の経過、進捗状況、結果が示すとおりです。)

この新しい文化を創り上げる創造性、想像力が共に生み出す“ともうみ”です。祖先が、先達が育て、培ってきた日本人の学問に対するありようであり、知らなかったことを知るという強い欲求といえるでしょう。

この“ともいき”と“ともうみ”が日本人の精神的基盤、目に見えない「ジャパネスク」です。

(“ともいきという価値観、生活観”と“ともうみという創造性、想像力”が精神的基盤になって、日本独特の形のあるモノ、コト、文化が創り出されたのです。これが目に見える「ジャパネスク」です。)

目に見えない「ジャパネスク」と目に見える「ジャパネスク」の総称が私たちの提唱する「ジャパネスク」です。

日本の、日本人の本質ともいえる目に見えない「ジャパネスク」「ともいき」と“ともうみ”は明日を創るために世界中が探し求めている普遍的なものになりうる可能性があり、21世紀を生きる地球人にとって、共通の言語、共通の感覚になりうる可能性があると感じています。そのためにも、祖先が、先達が発達させ、伝承してきた“ともいき”と“ともうみ”をもう一度力強く、自信を持って取り戻し、さらに高め、世界中の人々に訴求し、理解してもらうことが必要です。

“ともいき”と“ともうみ”という目に見えない「ジャパネスク」が、近い将来、地球上の諸民族の心と生活をつなぐ役割を果たすことができるのではないのでしょうか。

●視線を高く、日本人。

いかがですか。ぜひとも、ご賛同ください。そして、多くの方々の参加をお待ちしております。

# ジャパネスク



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

## ■事務局だより

今年最後の「ともいき便り」のお届けです。

あつという間の一年でしたが、皆さまにとって今年はどういう年でしたでしょうか。

本文にも記載されているように、来年は「ジャパネスク運動」を具体的に展開していく年という新たな思いにいたっています。

ぜひとも、ジャパネスクサイトをご覧ください、ご意見、ご感想をお寄せください。※<http://japanesque.tokyo/>

そして、皆さまが思われる「日本的なるもの」をお寄せください。サイト上でもご紹介していきたいと考えています。

今年一年、皆さまにはお世話になり、心より感謝申し上げます。

来年、皆さまにとって幸多き年でありますよう願っております。

## ●会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階

電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504

Email：info@ptpl.or.jp